

● 豊能医療圏における救急医療体制

初期救急医療体制

- 休日・夜間の初期救急医療体制は、2町を除く4市で整備。(豊能医療圏南部に偏在している)

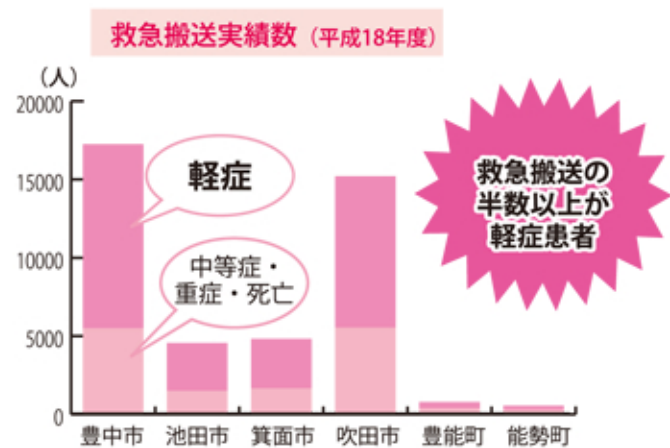
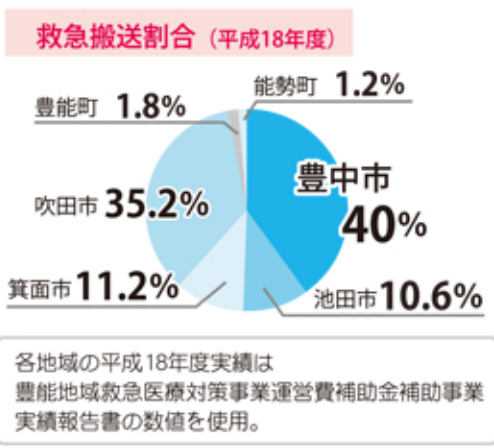
※豊能医療圏：豊中市・池田市・吹田市
箕面市・豊能町・能勢町

→ 2町での休日急病診療体制の整備が課題



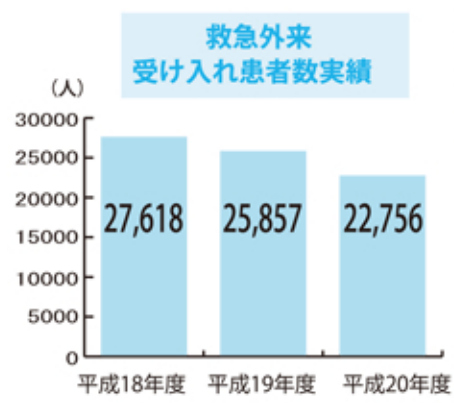
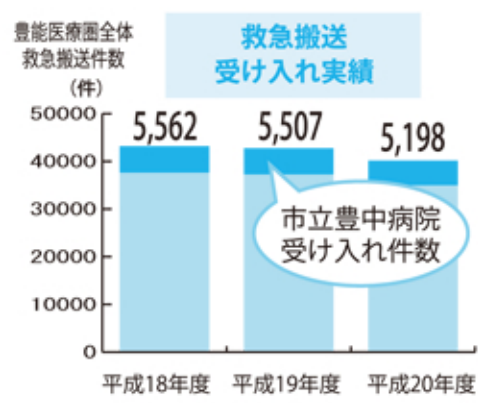
二次・三次救急医療体制

- 14の医療機関により二次救急医療体制を整備。
- 二次救急医療施設は、各市の急病センターなどからの入院患者の受け入れと救急車搬送の受け入れを行なう。
- 三次救急医療施設（千里救命救急センターや大阪大学附属病院高度救命救急センター）は、二次救急医療機関では対応困難な緊急重症患者の受け入れを行なう。



● 市立豊中病院の救急医療実績

当院は二次救急医療施設となっており、年間5,000件以上の救急搬送、約2,000人の紹介患者、20,000人以上の救急外来患者の受け入れを行っています。



● 救急医療機関の利用について

救急医療は緊急性のある傷病者への対応に備えるもので、症状の軽い方は、医療機関の通常の診療時間内での受診をお願いします。また、休日や夜間の場合には、地域の休日夜間救急診療所の利用をお願いします。

適切な救急医療体制の維持には皆さんのご協力が必要です。